

保護者の皆様

可児市長 富田 成輝

市内公立小中学校でのペットボトルの回収について

日頃は、可児市政にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

可児市では、サントリーホールディングスと協定を結び、リサイクルステーション及びエコドームで回収した使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生する「ボトル to ボトル」リサイクルの取り組みを令和4年4月から行っています（下図参照）。

この度、ご家族でリサイクルや資源の大切さについて考えていただく機会にさせていただきたいという思いから、2月から環境教育の一環として市内小中学校でもペットボトルを回収させていただくことになりました。

保護者の皆様におかれましても、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

<回収日> 令和5年2月16日・17日 以後毎月指定日（学校だよりでお知らせします）

<回収場所> 児童玄関前

①「ボトル to ボトル」リサイクルとは

使用済みのペットボトルから新たなペットボトルに再生することです。

可児市が資源ごみとしてリサイクルステーションやエコドームで回収したペットボトルと市内バロー3店舗（広見店、下恵土店、西可児店）で回収されたペットボトルが全てサントリーの製品容器に生まれ変わります。



「ボトル to ボトル」リサイクルされているペットボトルは、20.3%に留まっています。リサイクルされても、多くの場合数回でリサイクルの輪が途切れ、焼却されてしまいます。

ペットボトルを繰り返しリサイクルすれば、化石由来原料を使用してペットボトルを作るより、CO₂ 排出量を約60%削減できます。

②可児市は持続可能な循環型社会を目指しています

「ボトル to ボトル」リサイクルに取り組むことで、プラスチック資源が循環されます。可児市は、市民、事業者、行政が一体となった、資源を循環させ、廃棄物を抑制する「循環型社会」やCO₂等の温室効果ガスの排出量を森林等の吸収量と差し引きして実質ゼロにする「脱炭素社会」を目指しています。また、この取組みはSDGsの目標達成にもつながります。



③回収方法について

毎月第3木曜日/第3金曜日に回収します。キャップをとり、ラベルをはがし、中を軽くすすいでお子さんに持たせてください。ご協力をお願いいたします。



さんあ〜る[®]

分別方法を手軽に検索したり
できるごみ分別アプリです。
ぜひ、ご利用ください。



App Store
からダウンロード



GET IT ON
Google Play

<問合先>

可児市環境課環境政策係
TEL:0574-62-1111